彩の国
埼玉県

エスカレーターは
左右両側に立ち止まるのが
新しい思いやりのマナー

関連情報

「片側空け」の習慣も「思いやり」から始まった

エスカレーターを利用する際、急いでいる人が歩いていけるようにとの思いやりから始まった「片側空け」というマナー。

いつごろから始まったのでしょうか。

1967年（昭和42年）、阪急梅田駅にエスカレーターが設置された時、左側を空けるようアナウンスが行われたことが、片側空けのきっかけとなったといわれています。（諸説あります）

昭和40年代の日本は高度経済成長期。心の豊かさより物の豊かさの方が大切と考える人の方が多かった時代です。

「左右両側に立ち止まる」習慣を新マナーにしよう！

「片側空け」が始まってから半世紀以上が経過。人々の価値観も大きく変化して来ました。

エスカレーターは「急いでいる人」より、「片側の手すりにしかつかまることができない人」や「小さなお子さんと手をつないで利用したい人」への思いやりを大切にして、左右両側に立ち止まって利用しましょう。

立ち止まることでエスカレーター事故を減らそう！

エスカレーター事故の半数は、手すりを持たなかったり、歩いて転倒するなど「乗り方不良」によるものだそうです。そして、巻き込み事故も少なからず起きています。

手すりをしっかり持って、立ち止まることが、自分にも他人にも優しいエスカレーターの利用方法です。

埼玉県のマスコット
「コバトン＆さいたまっち」

お問い合わせ先　埼玉県県民生活部消費生活課　TEL 048-830-2935